

POWER!

2022年 6月 号外

令和4年(2022年) 6月20日発行
発行所 ● 日本薬剤師連盟 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-3 四谷トーセイビル2階 TEL (03) 3225-3100 FAX (03) 3225-3200
発行月 ● 隔月発行

<http://www.yakuren.jp>

かみや 神谷まさゆき副会長 活動報告(15)



新型コロナウイルス新規感染者数は大都市圏を中心に減少傾向が続く一方で、北海道や沖縄県などでは増加が続き、第6波のピークを上回っている地域もあり、基本的感染対策の徹底などが呼びかけられている状況にある。

このようなかた、神谷まさゆき副会長の全国支部訪問は、4月に入り地元愛知県を皮切りに重点地区訪問を開始した。

4月から5月にかけての重点地区訪問活動!

●愛知県(4月4日～8日、4月11日～15日)

初日は熱田神宮にて必勝祈願した後、名古屋熱田区の薬局28か所と卸事業所1か所を訪問した。二日目は名古屋市北区と東区の薬局33か所、卸企業本社2か所と卸事業所4か所を訪問し、夜は若手薬剤師とのミニ集会「ぶっちゃけトーク」(伝えよう! 神谷さん) (ウェブ、25名参加)が開催された。三日目は名古屋市南区の薬局26か所、卸企業本社1か所と卸事業所5か所、支援団体1か所を訪問し、夜は岡崎薬剤師会研修会(ウェブ併用、108名参加)で挨拶した。四日目は



愛知県(4月4日～8日、4月11日～15日)

岐阜医療科学大学薬学部で講義を行った後、卸企業の管理職研修会(70名参加)で挨拶し、夜は対談番組形式の「神谷プレゼン」愛知1日目(ウェブ、65名参加)が開催された。五日目は名古屋市議会議員事務所8か所を訪問し、愛知県薬剤師会主催の実務実習生を対象とした研修会(ウェブ併用、106名参加)で講演した後、名古屋市中村区の薬局18か所を訪問し、夜は「神谷プレゼン」愛知2日目



静岡県(4月18日～22日)

●静岡県(4月18日～22日)
初日は清水支部の薬局46か所を訪問し、夜は清水薬剤師会保険薬局講習会(53名参加)で講演した。二日目は卸事業所3カ所、静岡県議会議員事務所3カ所、静岡支部の薬局26か所を訪問し、夜は調



大阪府(4月25日、26日、28日、5月2日、6日)

剤報酬改定に関する説明会(109名参加)で講演した。三日目は卸事業所1か所を訪問後、金城学院大学薬学部で講義を行い、小笠袋井支部と磐田支部の薬局5か所を訪問し、磐田薬剤師会・小笠袋井薬剤師会合同研修会(109名参加)で講演した。四日目は浜松市の卸事業所2か所、浜松支部の薬局36か所を訪問した後、浜松市の衆議院議員事務所1か所を訪問し、夜は調剤報酬改定フォーラム研修会(171名参加)で講演した。五日目は浜松市の卸事業所2カ所と浜松支部の薬局17か所を訪問した。

●大阪府(4月25日、26日、28日、5月2日、6日)
初日は8支部の薬局10か所、卸事業所1か所、病院1か所を訪問し、大阪大谷大学薬学部で講義を行い、夜は励ます会(ウェブ、50名参加)が開催された。二日目は8支部の薬局20か所、卸事業所2か所を訪問し、夜は意見交換会(30名参加)が開催された。三日目は8支部の薬局15か所、卸事業所5か所を訪問し、夜はブロック会議(40名参加)に参加した。四日目は12支部の薬局18か所、卸事業所1か所を訪問し、夜は4ブロック合同の励ます会(100名参加)が開催された。五日

目は14支部の薬局25か所、卸企業本社1か所を訪問し、夜は2ブロック合同の意見交換会(30名参加)が開催された。

支部訪問と並行して 都道府県の会合へも参加!

4月から5月上旬までに開催された都道府県主催の会合への参加は次の通りであった。

石川県(支部長会議、ウェブ)、北海道(オホーツク薬剤師フォーラム、ビデオメッセージ/小樽・後志エリア薬局薬剤師研修会、ウェブ/神谷まさゆき先生を励ます会、ウェブ併用)、東京都(東京合同フォーラム、リアル)、鹿児島県(調剤報酬改定に関する講習会、ビデオメッセージ)、富山県(支援団体との選対会議、ウェブ)、三重県(薬剤師連盟評議員会、ウェブ)、静岡県(若手薬剤師フォーラム、神谷まさゆき後援会総決起大会、リアル)、和歌山県(薬剤師フォーラム、リアル)

その他の活動!

都道府県主催の会合のほか、4月3日には名古屋市西区薬剤師会総会で挨拶、4月9日には日本薬局協定会定時運営委員会で挨拶(ウェブ)、4月10日には政令指定都市薬剤師会名古屋大会で挨拶、4月14日には日本医薬品卸勤務薬剤師会理事会で挨拶(ウェブ)、4月16日には日本病院薬剤師連盟役員及び都道府県支部連絡担当者オンライン会議で挨拶(ウェブ)、4月27日には川崎市薬剤師会調剤報酬改定説明会(ウェブ)、5月8日には就実大学薬学部で講義(ウェブ)を行った。

毎日の活動を Facebookページに掲載!

神谷副会長は、毎日の活動状況を写真とともにFacebookページ「神谷まさゆきの活動日誌」に掲載している。是非閲覧願います。



神谷まさゆき選挙事務所を開設

待ちに待った決戦が迫ってきた！ 薬剤師が医療の中で果たす使命、福祉・介護での役割、セルフメディケーションにける思いをしっかりと政治に反映していくために大変重要なときがきた。



令和4年5月20日(金)、神谷まさゆき中央後援会の役員、支部団体の関係者等が参加し、神谷まさゆき選挙事務所開きが行われた。事務所開きは地元の須賀神社神主による神事から始まった。修祓・献饌・祝詞奏上と緊張感の中、厳かに進み、玉串奉奠では神谷まさゆき氏、岩本後援会副会長、松本純前衆議院議員、とかしきなおみ前衆議院議員が玉串を奉奠され、次に薬剤師関係者一同起立の上、

大澤後援会副会長が奉奠、支援団体一同が起立して眞鍋淳製薬産業政治連盟会長が奉奠された。神主による撒饌の後、直会となり、荻野後援会副会長の発声による乾杯のあと、岩本後援会副会長より、「コロナ禍において今までは異なる後援会活動となった。しかし、様々な手法を駆使した後援会活動を展開された皆様の努力・協力に対し、感謝申し上げます。あと2か月精一杯頑張ろう!!と力強く

挨拶された。続いて、松本純前衆議院議員、とかしきなおみ前衆議院議員、藤井基之参議院議員より激励の言葉をいただいた。次に支援団体を代表して、眞鍋淳製薬産業政治連盟会長及び南野日本保険薬局政治連盟幹事長より最後の最後まで熱意をもって取り組みたいと力強い挨拶をいただいた。続いて岸田文雄自民党総裁からのお祝いメッセージが紹介され、最後に、神谷まさゆき氏が「結果が出るまで50日となった。コロナ禍中でも支援の輪を広げていたためSNSを活用させていただいた。国民のため、支援の声を活かすために、油断することなく最後の日まで戦い抜く」と決意を述べた。

神谷まさゆき中央後援会総会

第1回全国会長・幹事長拡大会議に引き続き、午後4時半より神谷まさゆき中央後援会総会が開催された。岩本研副会長の司会で開会し、山本信夫会長より、「我が国は、薬剤師がしっかりと仕事をしているから安心して医薬品を使える。それを守るためになんとしても神谷ま

さゆきの名を知らしめ、その名前を書いていただけでものご支援をお願いしたい」との挨拶があった。それに引き続き、藤井基之参議院議員、本田顕子参議院議員、松本純前衆議院議員より、「神谷まさゆきの支援に力を貸していただきたい」「共に頑張りましょう」と挨拶があった。

続いて、公務と重なった自民党薬剤師問題議員懇談会会長鈴木俊一衆議院議員、とかしきなおみ前衆議院議員より届けられた激励のメッセージが司会より披露された。

その後、羽柴知二製薬産業政治連盟運営委員長、牛之濱貴正日本薬業政治連盟理事よりそれぞれの連盟会長のメッセージが代読され、続いて首藤正一日本保険薬局政治連盟会長、根津孝一一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会副会長、木平健治日本病院薬剤師連盟会長より激励の言葉が述べられた。

また、壇上には、支援団体である柏木弘文全国社会保険労務士政治連盟会長、黒川達夫日本OTC医薬品協会理事長、藤川伊知郎一般社団法人日本薬業貿易協会会長、谷野信吾日本浴用剤工業会専務理事、佐々木弥生日本家庭薬協会専務理



事務所は東京四谷4-3-1ワールド四谷ビル3階にある。お近くにお越しのときは、ぜひ立ち寄り頂きたい。



事、町田吉夫日本漢方生薬製剤協会専務理事、植松孝次日本専門薬局同志会副会長、榎崎明史協励政治連盟事務局局長、國廣吉臣日本ジェネリック製薬協会総務委員長、後藤元彰外用製剤協議会事務局局長、堀本啓造医薬品製剤受託協会事務局局長、小川春雄日本薬科機器協会事務局局長、杉達ひとみ輸液製剤協議会事務局、江上文庸日本一般用医薬品連合会常務理事、榎方絢子日本女性薬剤師連盟副会長が着席された。

来賓からの激励のあと、神谷まさゆき本人が、「薬剤師が信頼されるチーム医療の一員になり、安全安心の医療でより良い日本の未来を実現したい。みなさんの力をお貸しいただきたい」と熱い気持ちを込めた決意表明を行い、応援のため整列した日本薬剤師連盟企画実行委員のメンバーと共に、深々と頭を下げた。

最後に、川田哲副会長が、オール薬剤師・薬業界の未来を神谷まさゆきに託すという思いを込めてコールを行い、総会は終了した。